

令和7年度 JA事業への意見・要望に対する回答（抜粋）

今年度は昨年度と同様に、校
区別座談会及び第19回通常総
代会を通常開催とさせていただ
きました。出席していただいた
総代・組合員の皆様には感謝申
し上げます。

校
区別座談会において、組合
員の皆様からいただいたご意
見・ご要望の取りまとめを行
いましたので、回答を掲載させ
ていただきます。なお、紙面の都
合上、主なご意見・ご要望に対
する回答を掲載するとともに、
ご意見・ご要望についても要約
して掲載しております。また、
掲載されていないご意見・ご要
望につきましても、真摯に受け
止め、今後の事業運営に反映さ
せて頂きますので、ご理解賜り
ますようお願い申し上げます。

【金融共済部】

Q 農林中金の2024年度赤字
決算は、JAにも影響があるのか。

A 2024年度は赤字となりま
したが、2025年度においては
黒字へと回復する見通しと聞いて
います。当JA及び利用者への影
響についてはありませんのでご安
心ください。

Q 共済事業の主要施策で「農業リ
スク診断に取組む」とあるが具体
的にはどのような事を行うのか。

A 農業を営む上での様々なリス
クに備えるため、農業者賠償責任
共済等の共済商品を提供して参
ります。

【営農部】

Q 馬鈴薯への霜害対策を考えて
ほしい。

A 畑かんの圃場ではスプリンク
ラーの使用をお願いします。そ
他については、無霜地帯の圃場選
定をお願いします。

Q 冷凍焼き芋について、今後、西
之表では製造しないと聞いたが、
どこで製造するのか。また、西之
表のAコープが廃止となったが、
西之表ではどこで販売するのか。

A 西之表の農産加工事業につ
いては、赤字経営が続いており、ま
た、建物の老朽化や衛生面の問題
もあることから、令和7年度末で
廃止することを決定しております。
なお、今後、冷凍焼き芋につ

いては、鹿児島くみあい食品に委
託し製造することになっていま
す。西之表での販売は、生活福祉
課（Aコープ跡）にて行っていま
す。

Q さとうきびの糖度が下がって
いると聞くがさび病が影響してい
るのか。

A 令和6、7年産は、単収が上
がっており、単収が上がった年
については糖度が落ちる傾向にあり
ます。さび病が影響して糖度が落
ちたといったことは無いと考えて
おります。なお、さび病が登録さ
れている農薬は有りませので、
有効な農薬が登録された場合はお
知らせいたします。

Q これからの農家の高齢化や後
継者対策の一つとして、比較的軽
量で作業負担の少ない作物（例え
ばハーブやスパイス、またはクル
クマ）など、何か新規作物の検討
は進めているのか。

A この問題については、理事会の
中でも課題として協議されてお
ります。近年の気候の変化に合わせ
た作物の検討がなされておりま
す。具体的な作物の選定には至っ
ていない状況です。

Q 種子島の稲作の品種は大部分
がコシヒカリであるが、現在の気
候状況（温暖化に強い等）に合っ
た水稻の新品種や新農薬等の導入

に積極的に取り組んでほしい。

A 種子島の風土に合った品種・農
薬の導入については、熊毛試験場
と連携して取り組んでいます。良
い結果が出ていないのが現状で
す。今後も県内外等の情報を取り
入れながら、種子島に合った品種
の導入に取り組んで参ります。

Q 高齢者が多く、機械更新もま
まらない現状では農業の継続は難
しい状況にあることから、各集落
に1人、2人でも良いので、中心
となる農家を選定して集落営農の
形ができる体制整備を行政ととも
に作ってほしい。

A 担い手の育成支援については、
行政と連携し、各種会議体にお
いて、担い手の確保対策や労働力確
保対策など検討を行っている状況
です。引き続き行政と一体となっ
て担い手の育成・確保の取り組み
について検討して参ります。

Q 南種子ライスセンター粃摺機
更新にかかる固定資産取得につ
いて、補助事業の活用はできなかつ
たのか。

A 粃摺機の更新に関して、一部ラ
インのみの更新では国庫補助事業
に該当しないことから自己資金で
の対応となりました。

Q 中種子堆肥センターでペレッ
ト堆肥は製造しないのか。

【全体運】とても勢いがあり大きく進展。協力してくれる人も出てきて気
持ちは温かに。目標を絞り込み自信を持って進めて
【健康運】体調に合う食材や良い健康法が見つかる予感
【幸運を呼ぶ食べ物】トウガン

